

お知らせ

国語問題研究協議会(令和4年度) 8月オンライン(+オンデマンド)開催!

文化庁国語課

情報機器の普及で、漢字が簡単に変換できるようになり、手書きする機会が減少しています。このような現代社会における漢字や漢字教育の在り方について考えてみませんか。

学校の国語科教育に携わる方をはじめ、国語に関心のあるどなたでも御参加いただけます。

- **テーマ**：社会における漢字の現在地
- **開催日時**：令和4年8月23日(火) 13:00～16:30
- **開催方法**：オンライン開催(+事前申込者に後日オンデマンド配信)
- **主催**：文化庁、新潟県教育委員会、和歌山県教育委員会
- **概要**：我が国の国語施策について周知するとともに、国語をめぐる諸問題を取り上げ、改善の方法等について研究協議し、国語に対する関心を高めるとともに国語施策の充実に資する。昭和25年以降、毎年度開催。

【シンポジウム】14:40～16:25

国の漢字施策にも関わってきた、各分野を代表する有識者3名を迎えて開催するシンポジウム

テーマ：社会における漢字の役割と漢字教育

登壇者(五十音順、敬称略)：



笹原 宏之



関根 健一



棚橋 尚子

- 笹原 宏之 (早稲田大学大学院教授、日本漢字学会理事)
- 関根 健一 (日本新聞協会用語専門委員、元読売新聞東京本社編集委員)
- 棚橋 尚子 (奈良教育大学教授、日本漢字学会理事、小学校・中学校勤務経験有)
- 〈司会進行〉 武田 康宏 (文化庁主任国語調査官)

【取組報告】 13:20 ~ 14:30

取組報告①:

漢字を適切かつ豊かに活用できる能力の育成
— 複数字形の「表現の豊かさ」と、標準字
形の「拠り所」としての価値を学ぶ —
発表者：新潟県教育庁義務教育課

取組報告②:

漢字学習の現状とこれから

発表者：和歌山県教育庁県立学校教育課

【参加登録方法】

文化庁ウェブサイト（下記 URL）のリンク先で
参加登録を受け付けています。

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/
kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/
kyogikai/index.html](https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kyogikai/index.html)

プログラム

8月23日(火)

13:00 ~ 13:05	開会挨拶
13:05 ~ 13:20	会の説明
13:20 ~ 13:50	取組報告 ①
13:50 ~ 14:20	取組報告 ②
14:20 ~ 14:30	取組報告まとめ
14:30 ~ 14:40	休憩時間
14:40 ~ 16:25	シンポジウム
16:25 ~ 16:30	閉会挨拶

プログラムは都合により変更になる場合がありますので
あらかじめ御了承ください。

【問合せ先】文化庁国語課（担当：町田）

電話：03-5253-4111（内線 2842）

